

大会速報 4日目

ついに競技的には私たちの最終日となる全日本学生フォーミュラ大会4日目を迎えました。本日は昨日と打って変わり快晴となりましたが、昨夜の豪雨の影響がまだ路面に残っておりまして。

オートクロス(中止されました)と同じ周回コースを20周耐久で走る(10周でドライバー交代をします)エンデュランス競技に工学院は一番早い朝8時からの出走となりました。上記のようにまだ路面にはまだらに水溜りがありましたが、運営の計らいで排水・吸水作業が一時間にわたって行われたためほぼドライの状態でのスタートとなりました。

第一ドライバーの二年・八島はパイロンタッチを一度してしまうものの1分10秒前半のなかなかの好タイムでラップを重ね、そのまま10周を走りきってドライバー交代エリアに入りました。

続く第二ドライバーの二年・金野も同じく順調に周回を重ねていましたが、17周目、のこり3周というところでマシンが停止し、非常に残念ながらドライバー判断でリタイアとなりました。原因は燃料ポンプに繋がるコードの断線でした。

これで私たち工学院レーシングチームの今シーズンの挑戦は終了となりましたが、他大学様のピットにお邪魔して同じ担当のメンバーとの交流を行ってヒントを得たり、企業ブースに足を運び新たなスポンサー様を見つけてくるのも大会の一部です。また逆に私たちのピットにも多くの方が訪れてくださり、メンバーが丁寧に質問に答えていました。

明日は来年度の車両設計に活かすためチーム全員で上位校のエンデュランスを見学・計測しに行きます。そして最後に表彰式に出席し、今大会の総合結果の発表を見守ります。明日の速報をお待ちください。

